

カルタヘナ法に基づき第一種使用規程を承認した遺伝子組換え農作物一覧(作物別、承認順)

カルタヘナ法(遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(平成15年法律第97号))に基づき、生物多様性影響が生ずるおそれがないものとして環境大臣及び農林水産大臣が第一種使用規程を承認した遺伝子組換え農作物は以下のとおりです。

(2020年10月9日現在)

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
アルファルファ	1	除草剤グリホサート耐性アルファルファ(cp4 epsps, <i>Medicago sativa</i> L.)(J101, OECD UI: MON-00101-8)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年2月10日	○	○
	2	除草剤グリホサート耐性アルファルファ(cp4 epsps, <i>Medicago sativa</i> L.)(J163, OECD UI: MON-00163-7)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年2月10日	○	○
	3	除草剤グリホサート耐性アルファルファ(cp4 epsps, <i>Medicago sativa</i> L.)(J101 × J163, OECD UI: MON-00101-8 × MON-00163-7)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年2月10日	○	○
	4	低リグニンアルファルファ(CCOMT, <i>Medicago sativa</i> L.)(KK179, OECD UI: MON-00179-5)【ハイレックロップサイエンス株式会社】	○					2012年9月4日 (使用期間: 2012.9.4~ 2016.5.31)	—	—
	5	低リグニンアルファルファ(CCOMT, <i>Medicago sativa</i> L.)(KK179, OECD UI: MON-00179-5)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2015年6月26日	○	○
	6	除草剤グリホサート耐性及び低リグニンアルファルファ(改変 cp4 epsps, CCOMT, <i>Medicago sativa</i> L.)(J101 × KK179, OECD UI: MON-00101-8 × MON-00179-5)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2016年2月26日	○	○
イネ	1	高トリプトファン含量イネ(<i>OASA1D, Oryza sativa</i> L.)(HW1)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2004年6月11日 (使用期間: 2004.6.11~ 2005.7.30)	—	—
	2	高トリプトファン含量イネ(<i>OASA1D, Oryza sativa</i> L.)(HW5)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2004年6月11日 (使用期間: 2004.6.11~ 2005.7.30)	—	—
	3	半矮性イネ(<i>OsGA2ox1, Oryza sativa</i> L.)(G-3-3-22)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2004年6月11日 (使用期間: 2004.6.11~ 2005.3.31)	—	—
	4	直立葉半矮性イネ(Δ <i>OsBRI1, Oryza sativa</i> L.)(B-4-1-18)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2004年6月11日 (使用期間: 2004.6.11~ 2005.3.31)	—	—
	5	鉄欠乏耐性イネ(<i>HvNAS1, Oryza sativa</i> L.)(gHvNAS11-1)【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 (使用期間: 2005.4.25~ 2007.3.31)	—	—
	6	鉄欠乏耐性イネ(<i>HvNAAT-A, HvNAAT-B, Oryza sativa</i> L.)(gHvNAAT1)【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 (使用期間: 2005.4.25~ 2007.3.31)	—	—
	7	鉄欠乏耐性イネ(<i>HVIDS3, Oryza sativa</i> L.)(gHVIDS3-1)【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 (使用期間: 2005.4.25~ 2007.3.31)	—	—
	8	鉄欠乏耐性イネ(<i>HvNAS1, HvNAAT-A, HvNAAT-B, Oryza sativa</i> L.)(gHvNAS1-gHvNAAT1)【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 (使用期間: 2005.4.25~ 2007.3.31)	—	—
	9	鉄欠乏耐性イネ(<i>APRT, Oryza sativa</i> L.)(I3pAPRT1)【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 (使用期間: 2005.4.25~ 2007.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
イネ (続き)	10	鉄欠乏耐性イネ (<i>HvNAS1</i> , <i>HvNAAT-A</i> , <i>APRT</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (I3pNasNaatAprt1)【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 (使用期間: 2005.4.25~ 2007.3.31)	—	—
	11	スギ花粉症予防効果ペプチド含有イネ (<i>7Crp</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (7Crp # 10)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2007.12.31)	—	—
	12	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ (<i>DEF</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (AD41)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2006.10.31)	—	—
	13	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ (<i>DEF</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (AD48)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2006.10.31)	—	—
	14	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ (<i>DEF</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (AD51)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2006.10.31)	—	—
	15	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ (<i>DEF</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (AD77)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2006.10.31)	—	—
	16	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ (<i>DEF</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (AD97)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2006.10.31)	—	—
	17	半矮性イネ (<i>OsGA2ox1</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (G-3-3-22)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2005年5月25日 農業生物資源研究所ほ場に限定	—	—
	18	直立葉半矮性イネ (Δ <i>OsBRI1</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (B-4-1-18)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2005年5月25日 農業生物資源研究所ほ場に限定	—	—
	19	スギ花粉症予防効果ペプチド含有イネ (<i>7Crp</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (7Crp # 10)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2007年6月26日 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所及び 農業生物資源研究所ほ場に限定	—	—
	20	スギ花粉ペプチド含有イネ (<i>7Crp</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (7Crp #242-95-7)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2007年7月19日 (使用期間: 2007.7.19~ 2010.3.31)	—	—
	21	高トリプトファン含量イネ (<i>OASA1D</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (KPD627-8)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2009年7月30日 (使用期間: 2009.7.30~ 2011.3.31)	—	—
	22	高トリプトファン含量イネ (<i>OASA1D</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (KPD722-4)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2009年7月30日 (使用期間: 2009.7.30~ 2011.3.31)	—	—
	23	高トリプトファン含量イネ (<i>OASA1D</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (KA317)【(国研)農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2009年7月30日 (使用期間: 2009.7.30~ 2011.3.31)	—	—
24	スギ花粉ポリペプチド含有イネ (<i>GluA2-F1</i> , <i>GluB1-F2</i> , <i>GluC-F3</i> , <i>SH-Cry j 2</i> , 改変 <i>ALS</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (OsCr11)【(国研)農業生物資源研究所】	○					2016年3月31日 (使用期間: 2016.3.31~ 2023.3.31)	—	—	

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
カーネーション	1	青紫色カーネーション123.2.2(<i>F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus</i> L.)(OECD UI: FLO-40619-8)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2004年6月1日	—	—
	2	青紫色カーネーション11(<i>F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus</i> L.)(OECD UI: FLO-07442-5)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2004年12月10日	—	—
	3	青紫色カーネーション11363 (<i>F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus</i> L.)(OECD UI: FLO-11363-2)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2004年12月10日	—	—
	4	青紫色カーネーション123.2.38(<i>F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus</i> L.)(OECD UI: FLO-40644-6)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2004年12月10日	—	—
	5	青紫色カーネーション123.8.8(<i>F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus</i> L.)(OECD UI: FLO-40685-2)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2004年12月10日	—	—
	6	青紫色カーネーション123.8.12 (<i>F3'5'H, DFR, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(OECD UI: FLO-40689-6)【サントリーホールディングス株式会社】	○					2007年11月6日 (使用期間: 2007.11.6~ 2009.5.31)	—	—
	7	青紫色カーネーション(<i>F3'5'H, DFR, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(123.8.12, OECD UI: FLO-40689-6)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2009年1月29日	—	—
	8	青紫色及び除草剤クロロスルフロン耐性カーネーション(<i>F3'5'H, DFR, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(19907, OECD UI: IFD-19907-9)【サントリーホールディングス株式会社】	○					2009年8月28日 (使用期間: 2009.8.28~ 2012.12.31)	—	—
	9	青紫色及び除草剤クロロスルフロン耐性カーネーション(<i>F3'5'H, DFR, dsDFR, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(25958, OECD UI: IFD-25958-3)【サントリーホールディングス株式会社】	○					2011年4月13日 (使用期間: 2011.4.13~ 2013.12.31)	—	—
	10	青紫色及び除草剤クロロスルフロン耐性カーネーション(<i>F3'5'H, Cyt b5, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(26407, OECD UI: IFD-26407-2)【サントリーホールディングス株式会社】	○					2011年4月13日 (使用期間: 2011.4.13~ 2013.12.31)	—	—
	11	青紫色及び除草剤クロロスルフロン耐性カーネーション(<i>F3'5'H, DFR, dsDFR, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(25958, OECD UI: IFD-25958-3)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2013年3月27日	—	—
	12	青紫色及び除草剤クロロスルフロン耐性カーネーション(<i>F3'5'H, Cyt b5, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(26407, OECD UI: IFD-26407-2)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2013年3月27日	—	—
	13	青紫色及び除草剤クロロスルフロン耐性カーネーション(<i>F3'5'H, DFR, surB, Dianthus caryophyllus</i> L.)(11363, OECD UI:FLO-11363-2)【サントリーホールディングス株式会社】		○			○	2016年1月26日	—	—
クリーピング ベントグラス	1	除草剤グリホサート耐性クリーピングベントグラス(cp4 epsps, <i>Agrostis stolonifera</i> L.)(ASR368, OECD UI: SMG-36800-2)【バイオエルクロップサイエンス株式会社】	○					2004年12月10日 (使用期間: 2004.12.10~ 2005.11.30)	—	—
シクラメン	1	雌ずい花弁化八重咲きシクラメン(<i>CpAG2SRDX, Cyclamen persicum</i> Mill.)(AGM16)【筑波大学・北興化学工業株式会社】	○					2016年10月14日 (使用期間: 2016.10.14~ 2018.3.31)	—	—
	2	雌ずい花弁化八重咲きシクラメン(<i>CpAG2SRDX, Cyclamen persicum</i> Mill.)(ASW30)【筑波大学・北興化学工業株式会社】	○					2016年10月14日 (使用期間: 2016.10.14~ 2018.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
セイヨウナタネ	1	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ(cp4 epsps, gox, Brassica napus L.)(RT73, OECD UI: MON-00073-7)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年3月10日	○	○
	2	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ(cp4 epsps, gox, Brassica napus L.)(RT200, OECD UI: MON-89249-2)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年5月29日	○	○
	3	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネ(bar, barnase, Brassica napus L.)(MS8, OECD UI: ACS-BN005-8)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2006年9月22日	○	○
	4	除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性セイヨウナタネ(改変 bar, barstar, Brassica napus L.)(RF3, OECD UI: ACS-BN003-6)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2007年4月24日	○	○
	5	除草剤グルホシネート耐性セイヨウナタネ(pat, Brassica napus L.)(Topas19/2, OECD UI: ACS-BN007-1)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2007年5月17日	○	○
	6	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ(改変 bar, barnase, barstar, Brassica napus L.)(MS8RF3, OECD UI: ACS-BN005-8 × ACS-BN003-6)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2007年8月23日	○	○
	7	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ(改変 bar, barnase, barstar, Brassica napus L.)(MS1RF1, OECD UI: ACS-BN004-7 × ACS-BN001-4)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2007年8月23日	○	○
	8	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ(改変 bar, barnase, barstar, Brassica napus L.)(MS1RF2, OECD UI: ACS-BN004-7 × ACS-BN002-5)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2007年8月23日	○	○
	9	除草剤グルホシネート耐性セイヨウナタネ(pat, Brassica napus L.)(T45, OECD UI: ACS-BN008-2)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2007年11月6日	○	○
	10	除草剤プロモキシニル耐性セイヨウナタネ(oxy, Brassica napus L.)(OXY-235, OECD UI: ACS-BN011-5)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2008年9月18日	○	○
	11	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ(gat4621, Brassica napus L.)(61061, OECD UI: DP-061061-7)【テュボン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2011年4月13日 (使用期間: 2011.4.13~ 2013.3.31)	—	—
	12	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ(gat4621, Brassica napus L.)(73496, OECD UI: DP-073496-4)【テュボン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2011年4月13日 (使用期間: 2011.4.13~ 2013.3.31)	—	—
	13	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ(改変 cp4 epsps, Brassica napus L.)(MON88302, OECD UI: MON-88302-9)【ハイレックロップサイエンス株式会社】	○					2011年8月8日 (使用期間: 2011.8.8~ 2014.5.31)	—	—
	14	除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性並びに雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ(改変 bar, 改変 cp4 epsps, 改変 gox v247, barnase, barstar, Brassica napus L.)(MS8 × RF3 × RT73, OECD UI: ACS-BN005-8 × ACS-BN003-6 × MON-00073-7) (MS8, RF3及びRT73それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該セイヨウナタネから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2012年2月7日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
セイヨウナタネ (続き)	15	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ(改変cp4 epsps, Brassica napus L.)(MON88302, OECD UI: MON-88302-9)【ハイエルクroppサイエンス株式会社】		○	○	○		2013年10月31日	○	○
	16	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ(gat4621, Brassica napus L.)(73496, OECD UI:DP-073496-4)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2015年1月30日	○	○
	17	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性並びに雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ(改変cp4 epsps, 改変bar, barnase, barstar, Brassica napus L.)(MON88302 × MS8 × RF3, OECD UI: MON-88302-9 × ACS-BN005-8 × ACS-BN003-6)(MON88302, MS8及びRF3 それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該セイヨウナタネから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(BASFジャパン株式会社)		○	○	○		2015年3月17日	○	○
	18	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性並びに稔性回復性セイヨウナタネ(改変cp4 epsps, 改変bar, barstar, Brassica napus L.)(MON88302 × RF3, OECD UI:MON-88302-9 × ACS-BN003-6)【ハイエルクroppサイエンス株式会社】		○	○	○		2015年3月17日	○	○
	19	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性並びに稔性回復性セイヨウナタネ(gat4621, 改変bar, barstar, Brassica napus L.)(73496 × RF3, OECD UI:DP-073496-4 × ACS-BN003-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2017年5月18日	○	○
	20	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネ(改変bar, 改変barnase, barstar, Brassica napus L.)(MS11, OECD UI:BCS-BN0-12-7)【BASFジャパン株式会社】	○					2017年7月28日 (使用期間: 2017.7.28~ 2020.3.31)	—	—
	21	長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネ(D6E(Pp), D5D(Tc), D6D(Ot), D6E(Tp), D12D(Ps), O3D(Pir), O3D(Pi), D4D(Tc), D4D(Pi), D5E(Ot), AHAS(At), Brassica napus L.)(LBFLFK, OECD UI: BPS-BFLFK-2)【BASFジャパン株式会社】	○					2020年6月17日 (使用期間: 2020.6.17~ 2023.3.31)	—	—
	22	除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネ(改変dmo, Brassica napus L.)(MON94100, OECD UI: MON-94100-2)【ハイエルクroppサイエンス株式会社】	○					2020年6月17日 (使用期間: 2020.6.17~ 2025.12.31)	—	—
ダイズ	1	除草剤グリホサート耐性ダイズ(cp4 epsps, Glycine max (L.) Merr.)(40-3-2, OECD UI: MON-04032-6)【ハイエルクroppサイエンス株式会社】		○	○	○		2005年5月25日	○	○
	2	除草剤グリホサート耐性ダイズ(cp4 epsps, Glycine max (L.) Merr.)(MON89788-1)【ハイエルクroppサイエンス株式会社】	○					2006年5月2日 (使用期間: 2006.5.2~ 2007.1.31)	—	—
	3	除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ(gat,gm-hra, Glycine max (L.) Merr.)(DP-356043-5, OECD UI: DP-356043-5)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社、シンジエンタジャパン株式会社】	○					2006年7月4日 (使用期間: 2006.7.4~ 2007.3.31)	—	—
	4	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(pat, Glycine max (L.) Merr.)(A2704-12, OECD UI: ACS-GM005-3)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2006年11月24日	○	○
	5	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(pat, Glycine max (L.) Merr.)(A5547-127, OECD UI: ACS-GM006-4)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2006年11月24日	○	○
	6	高オレイン酸ダイズ(GmFad2-1, Glycine max (L.) Merr.)(260-05, OECD UI: DD-026005-3)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】			○	○		2007年4月24日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ダイズ (続き)	7	高オレイン酸含有及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ(<i>gm-fad2-1, gm-hra, Glycine max</i> (L.) Merr.)(DP-305423-1, OECD UI: DP-305423-1)【テュホン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2007年5月30日 (使用期間: 2007.5.30~ 2009.3.31)	—	—
	8	除草剤グリホサート耐性ダイズ(改変cp4 epsps, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON89788, OECD UI:MON-89788-1)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2008年1月31日	○	○
	9	ステアリン酸産生ダイズ(改変Pj.D6D, 改変Nc.Fad3, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87769, OECD UI: MON-87769-7)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2008年7月24日 (使用期間: 2008.7.24~ 2010.1.31)	—	—
	10	イミダゾリノン系除草剤耐性ダイズ(改変 <i>csr1-2, Glycine max</i> (L.) Merr.)(CV127, OECD UI: BPS-CV127-9)【BASFジャパン株式会社】	○					2008年7月24日 (使用期間: 2008.7.24~ 2010.3.31)	—	—
	11	高オイルダイズ(<i>dgat2A, Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87754, OECD UI: MON-87754-1)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2008年9月18日 (使用期間: 2008.9.18~ 2010.1.31)	—	—
	12	除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ(<i>gat4601, gm-hra, Glycine max</i> (L.) Merr.)(DP-356043-5, OECD UI: DP-356043-5)【テュホン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2009年6月8日	○	○
	13	低飽和脂肪酸・高オレイン酸及び除草剤グリホサート耐性ダイズ(<i>GmFAD2-1A, GmFATB1A, 改変cp4 epsps, Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87705, OECD UI: MON-87705-6)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2009年7月8日 (使用期間: 2009.7.8~ 2012.1.31)	—	—
	14	チョウ目害虫抵抗性ダイズ(改変 <i>cry1Ac, Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87701, OECD UI: MON-87701-2)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2009年7月30日 (使用期間: 2009.7.30~ 2012.1.31)	—	—
	15	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>aad-12, pat, Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS68416, OECD UI: DAS-68416-4)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2009年8月28日 (使用期間: 2009.8.28~ 2011.3.31)	—	—
	16	除草剤ジカンバ耐性ダイズ(改変 <i>dmo, Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87708, OECD UI: MON-87708-9)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2010年6月11日 (使用期間: 2010.6.11~ 2013.1.31)	—	—
	17	高オレイン酸含有及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ(<i>gm-fad2-1, gm-hra, Glycine max</i> (L.) Merr.)(DP-305423-1, OECD UI: DP-305423-1)【テュホン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2010年7月16日	○	○
	18	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>aad-12, pat, Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS21606, OECD UI: DAS-21606-3)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2010年11月1日 (使用期間: 2010.11.1~ 2012.3.31)	—	—
	19	除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ダイズ(<i>2mepsps, 改変hppd, Glycine max</i> (L.) Merr.)(FG72, OECD UI: MST-FG072-2)【BASFジャパン株式会社】	○					2011年4月13日 (使用期間: 2011.4.13~ 2012.5.31)	—	—
	20	除草剤メソトリオン耐性ダイズ(改変 <i>avhppd, Glycine max</i> (L.) Merr.)(SYHT04R, OECD UI: SYN-0004R-8)【シンジエンジャパン株式会社】	○					2011年9月2日 (使用期間: 2011.9.2~ 2013.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ダイズ (続き)	21	除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>aad-12</i> , <i>2mepsps</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS44406, OECD UI: DAS-44406-6)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2011年9月2日 (使用期間: 2011.9.2~ 2013.3.31)	—	—
	22	高オレイン酸含有並びに除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤及びグリホサート耐性ダイズ(<i>gm-fad2-1</i> , <i>gm-hra</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(305423×40-3-2, OECD UI:DP-305423-1×MON-04032-6)【テュボン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2012年3月26日	○	○
	23	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>aad-12</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS68416, OECD UI:DAS-68416-4)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2012年5月29日 (使用期間: 2012.5.29~ 2014.3.31)	—	—
	24	除草剤メソトリオン及びグルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>avhppd</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(SYHT0H2, OECD UI: SYN-000H2-5)【シンエンタジャハン株式会社】	○					2012年9月4日 (使用期間: 2012.9.4~ 2014.3.31)	—	—
	25	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(<i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(A5547-127, OECD UI: ACS-GM006-4)【BASFジャパン株式会社】	○					2012年12月5日 (使用期間: 2012.12.5~ 2016.3.31)	—	—
	26	除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ダイズ(<i>2mepsps</i> , 改変 <i>hppd</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(FG72, OECD UI: MST-FG072-2)【BASFジャパン株式会社】	○					2012年12月5日 (使用期間: 2012.12.5~ 2016.3.31)	—	—
	27	チョウ目害虫抵抗性ダイズ(改変 <i>cry1Ac</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87701, OECD UI: MON-87701-2)【ハイレックロップサイエンス株式会社】			○	○		2013年2月25日	○	○
	28	イミダゾリノン系除草剤耐性ダイズ(改変 <i>csr1-2</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(CV127, OECD UI:BPS-CV127-9)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2013年3月27日	○	○
	29	低飽和脂肪酸・高オレイン酸及び除草剤グリホサート耐性ダイズ(FAD2-1A, FATB1-A, 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87705, OECD UI:MON-87705-6)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2013年3月27日	○	○
	30	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性ダイズ(改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87701×MON89788, OECD UI:MON-87701-2×MON-89788-1)【ハイレックロップサイエンス株式会社】			○	○		2013年3月27日	○	○
	31	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS81419, OECD UI:DAS-81419-2)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2013年8月2日 (使用期間: 2013.8.2~ 2017.3.31)	—	—
	32	除草剤ジカンバ耐性ダイズ(改変 <i>dmo</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87708, OECD UI: MON-87708-9)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2013年10月31日	○	○
	33	低飽和脂肪酸・高オレイン酸及び除草剤グリホサート耐性ダイズ(FAD2-1A, FATB1-A, 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87705×MON89788, OECD UI: MON-87705-6×MON89788-1)【ハイレックロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2013年10月31日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ダイズ (続き)	34	除草剤ジカンバ及びグリホサート耐性ダイズ(改変dmo, 改変cp4 epsps, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87708 × MON89788, OECD UI:MON-87708-9 × MON-89788-1)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2014年2月28日	○	○
	35	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(pat, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(A2704-12, OECD UI: ACS-GM005-3)【BASFジャパン株式会社】	○					2014年5月29日 (使用期間: 2014.5.29~ 2017.3.31)	—	—
	36	チョウ目害虫抵抗性ダイズ(cry1A.105, 改変cry2Ab2, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87751, OECD UI: MON-87751-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2014年5月29日 (使用期間: 2014.5.29~ 2018.5.31)	—	—
	37	ステアリン酸産生ダイズ(改変Pj.D6D, 改変Nc.Fad3, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87769, OECD UI:MON-87769-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2014年9月17日	○	○
	38	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ(改変aad-12, pat, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS68416, OECD UI:DAS-68416-4)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】		○	○	○		2014年11月6日	○	○
	39	除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性ダイズ(改変aad-12, pat, 改変cp4 epsps, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS68416 × MON89788, OECD UI: DAS-68416-4 × MON-89788-1)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】		○	○	○		2014年11月6日	○	○
	40	除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ(改変aad-12, 2mepsps, pat, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS44406, OECD UI:DAS-44406-6)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】		○	○	○		2015年1月30日	○	○
	41	ステアリン酸産生及び除草剤グリホサート耐性ダイズ(改変pj.D6D, 改変Nc.Fad3, 改変cp4 epsps, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87769 × MON89788, OECD UI:MON-87769-7 × MON-89788-1)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2015年5月22日	○	○
	42	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(pat, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(A5547-127, OECD UI: ACS-GM006-4)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2015年6月26日	○	○
	43	p-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ(改変avhppd, pat, <i>Glycine max</i> (L.)Merr.)(SYHT0H2, OECD UI:SYN-000H2-5)【シンジエンタジャパン(株)・BASFジャパン(株)】		○	○	○		2016年11月25日	○	○
	44	除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ダイズ(2mepsps,hppdPFW336, <i>Glycine max</i> (L.)Merr.)(FG72, OECD UI:MST-FG072-2)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2016年11月25日	○	○
	45	除草剤グリホサート、イソキサフルトール及びグルホシネート耐性ダイズ(2mepsps, hppdPFW336, pat, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(FG72 × A5547-127, OECD UI:MST-FG072-2 × ACS-GM006-4)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2016年11月25日	○	○
	46	チョウ目害虫抵抗性ダイズ(cry1A.105, 改変cry2Ab2, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87751, OECD UI: MON-87751-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2016年11月25日	○	○
47	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ(改変cry1F, 改変cry1Ac, pat, <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(DAS81419, OECD UI: DAS-81419-2)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2017年1月23日	○	○	

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ダイズ (続き)	48	低飽和脂肪酸・高オレイン酸並びに除草剤グリホサート及びジカンバ耐性ダイズ (FAD2-1A, FATB1-A, 改変cp4epsps, 改変dmo, Glycine max (L.) Merr.) (MON87705 × MON87708 × MON89788, OECD UI: MON-87705-6 × MON-87708-9 × MON-89788-1)並びに当該ダイズの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2017年1月23日	○	○
	49	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(pat, Glycine max (L.) Merr.)(A2704-12, OECD UI: ACS-GM005-3) 【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2017年5月18日	○	○
	50	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤ジカンバ及びグリホサート耐性ダイズ (cry1A.105, 改変cry2Ab2, 改変cry1Ac, 改変dmo, 改変cp4 epsps, Glycine max (L.) Merr.) (MON87751 × MON87701 × MON87708 × MON89788, OECD UI: MON-87751-7 × MON-87701-2 × MON-87708-9 × MON-89788-1) 並びに当該ダイズの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2017年5月18日	○	○
	51	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ(改変cry1F, 改変cry1Ac, 改変aad-12, 2mepsps, pat, Glycine max (L.) Merr.) (DAS81419 × DAS44406, OECD UI: DAS-81419-2 × DAS-44406-6) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2017年7月28日	○	○
	52	除草剤ジカンバ、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ(改変dmo, 改変cp4 epsps, pat, Glycine max (L.) Merr.) (MON87708 × MON89788 × A5547-127, OECD UI: MON-87708-9 × MON-89788-1 × ACS-GM006-4) 並びに当該ダイズの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2018年6月8日	○	○
	53	高オレイン酸含有並びに除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤、グリホサート及びジカンバ耐性ダイズ (gm-fad2-1, gm-hra, 改変cp4 epsps, 改変dmo, Glycine max (L.) Merr.) (305423 × MON89788 × MON87708, OECD UI: DP-305423-1 × MON-89788-1 × MON-87708-9) 並びに当該ダイズの分離系統に包含される組み合わせ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2018年6月8日	○	○
	54	チョウ目害虫抵抗性ダイズ(改変cry1Ac, Glycine max (L.) Merr.)(MON87701, OECD UI: MON-87701-2) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2019年2月20日	○	○
	55	チョウ目害虫抵抗性ダイズ(cry1A.105, 改変cry2Ab2, Glycine max (L.) Merr.) (MON87751, OECD UI: MON-87751-7) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2019年2月20日	○	○
	56	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤ジカンバ及びグリホサート耐性ダイズ (cry1A.105, 改変cry2Ab2, 改変cry1Ac, 改変dmo, 改変cp4 epsps, Glycine max (L.) Merr.) (MON87751 × MON87701 × MON87708 × MON89788, OECD UI: MON-87751-7 × MON-87701-2 × MON-87708-9 × MON-89788-1) 並びに当該ダイズの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2019年5月30日	○	○
	57	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ(改変cry1F, 改変cry1Ac, pat, Glycine max (L.) Merr.) (DAS81419, OECD UI: DAS-81419-2) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2020年6月17日	○	○
58	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ(改変cry1F, 改変cry1Ac, 改変aad-12, 2mepsps, pat, Glycine max (L.) Merr.) (DAS81419 × DAS44406, OECD UI: DAS-81419-2 × DAS-44406-6) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2020年10月9日			

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
テンサイ	1	除草剤グリホサート耐性テンサイ(cp4 epsps, Beta vulgaris L. subsp. vulgaris var. altissima)(H7-1,OECD UI: KM-000H71-4)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2005.12.31)	○	—
	2	除草剤グリホサート耐性テンサイ(cp4 epsps, Beta vulgaris L. subsp. vulgaris var. altissima)(H7-1,OECD UI: KM-000H71-4)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2007年4月24日	○	○
トウモロコシ	1	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(cry1Ab, Zea mays L.)(MON810, OECD UI: MON-00810-6)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年6月1日	○	○
	2	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(cry3Bb1, Zea mays L.)(MON863, OECD UI: MON-00863-5)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年6月1日	○	○
	3	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(cry1Ab, cry3Bb1, Zea mays L.)(MON810×MON863, OECD UI: MON-00810-6×MON-00863-5)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年6月11日	○	○
	4	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(cry1F, pat, Zea mays L.)(TC6275, OECD UI: DAS-06275-8)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2004年6月11日 (使用期間: 2004.6.11~ 2005.3.31)	—	—
	5	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(cp4 epsps, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(NK603, OECD UI: MON-00603-6)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	○	○
	6	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(pat, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(T25, OECD UI: ACS-ZM003-2)【BASFジャパン株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	○	○
	7	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(cp4 epsps, cry1Ab, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(NK603×MON810, OECD UI: MON-00603-6×MON-00810-6)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	○	○
	8	コウチュウ目及びチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(cry3Bb1, cry1Ab, cp4 epsps, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(MON863×MON810×NK603, OECD UI: MON-00863-5×MON-00810-6×MON-00603-6)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	○	○
	9	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(cry3Bb1, cp4 epsps, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(MON863×NK603, OECD UI: MON-00863-5×MON-00603-6)【ハリエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年12月10日	○	○
	10	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(cry1F, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(B.t. Cry1F maize line 1507, OECD UI: DAS-01507-1)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2005年3月2日	○	○
	11	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(cry1F, pat, cp4 epsps, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(1507×NK603, OECD UI: DAS-01507-1×MON-00603-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2005年3月25日	○	○
	12	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(mcry3Aa2, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(MIR604, OECD UI: SYN-IR604-5)【シンジエンタジャパン株式会社】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2006.3.31)	—	—
	13	耐熱性αアミラーゼ産生トウモロコシ(amy797E, Zea mays subsp. mays (L.) Itlis)(3272, OECD UI: SYN-E3272-5)【シンジエンタジャパン株式会社】	○					2005年5月25日 (使用期間: 2005.5.25~ 2006.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	14	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(mEPSPS, <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(GA21, OECD UI: MON-00021-9)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2005年11月25日	○	○
	15	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(<i>pat, cry1Ab, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(T25 × MON810, OECD UI: ACS-ZM003-2 × MON-00810-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2005年11月25日	○	○
	16	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(mEPSPS, <i>cry1Ab, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(GA21 × MON810, OECD UI: MON-00021-9 × MON-00810-6)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2005年11月25日	○	○
	17	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(T14, OECD UI: ACS-ZM002-1)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2006年2月10日	○	○
	18	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>cry34Ab1, cry35Ab1, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(<i>B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7</i> , OECD UI: DAS-59122-7)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	○	○
	19	除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(<i>cp4 epsps, cry3Bb1, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(MON88017, OECD UI: MON-88017-3)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	○	○
	20	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>bar, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(DLL25, OECD UI: DKB-89790-5)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	○	○
	21	除草剤グリホサート耐性並びにコウチュウ目及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(<i>cp4 epsps, cry3Bb1, cry1Ab, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)MON88017 × MON810, OECD UI: MON-88017-3 × MON-00810-6)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	○	○
	22	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>cry1F, cry34Ab1, cry35Ab1, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(1507 × 59122, OECD UI: DAS-01507-1 × DAS-59122-7)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	○	○
	23	コウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry34Ab1, cry35Ab1, pat, cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(59122 × NK603, OECD UI: DAS-59122-7 × MON-00603-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	○	○
	24	コウチュウ目及びチョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry34Ab1, cry35Ab1, cry1F, pat, cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(59122 × 1507 × NK603, OECD UI: DAS-59122-7 × DAS-01507-1 × MON-00603-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	○	○
	25	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(<i>cry1A105, cry2Ab2, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(MON89034)【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2006年5月2日 (使用期間: 2006.5.2~ 2007.1.31)	—	—
	26	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>cry1F, pat, Zea mays</i> L.)(TC6275, OECD UI: DAS-06275-8)【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2006年5月29日 (使用期間: 2006.5.29~ 2007.3.31)	—	—
	27	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>cry1Ab, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>)(Bt10)【シンジエンジャパン株式会社】	○					2006年7月4日 (使用期間: 2006.7.4~ 2008.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	28	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>cry1Ac, bar, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(DBT418, OECD UI: DKB-89614-9)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2007年1月29日	○	○
	29	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab, pat, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(Bt11, OECD UI: SYN-BT011-1)【シンジエンタジャハン株式会社】			○	○		2007年4月24日	○	○
	30	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab, bar, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(Event176, OECD UI: SYN-EV176-9)【シンジエンタジャハン株式会社】			○	○		2007年5月17日	○	○
	31	除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性トウモロコシ(<i>gat4621, zm-hra, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(DP-098140-6, OECD UI: DP-098140-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2007年5月30日 (使用期間: 2007.5.30~ 2009.3.31)	—	—
	32	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変 <i>vip3A, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis) (MIR162, OECD UI: SYN-IR162-4)【シンジエンタジャハン株式会社】	○					2007年7月19日 (使用期間: 2007.7.19~ 2009.3.31)	—	—
	33	高リシン(lysine)トウモロコシ(<i>cordapA, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis) (LY038, OECD UI: REN-00038-3)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○	○	2007年8月23日	○	○
	34	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変 <i>cry3Aa2, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(MIR604, OECD UI: SYN-IR604-5)【シンジエンタジャハン株式会社】			○	○	○	2007年8月23日	○	○
	35	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab, pat, mEPSPS, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(Bt11 × GA21, OECD UI: SYN-BT011-1 × MON-00021-9)【シンジエンタジャハン株式会社】			○	○	○	2007年11月6日	○	○
	36	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry3Aa2, mEPSPS, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(MIR604 × GA21, OECD UI: SYN-IR604-5 × MON-00021-9)【シンジエンタジャハン株式会社】			○	○	○	2007年11月6日	○	○
	37	高リシン及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(<i>cordapA, cry1Ab, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis)(LY038 × MON810, OECD UI: REN-00038-3 × MON-00810-6)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○	○	2007年11月20日	○	○
	38	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F, 改変 bar, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis) (TC6275, OECD UI: DAS-06275-8)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○	○	2008年1月31日	○	○
	39	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(<i>cry1A.105, 改変 cry2Ab2, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis) (MON89034, OECD UI: MON-89034-3)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○	○	2008年1月31日	○	○
	40	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab, 改変 cry3Aa2, pat, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis) Bt11 × MIR604, OECD UI: SYN-BT011-1 × SYN-R604-5)【シンジエンタジャハン株式会社】			○	○	○	2008年8月18日	○	○
	41	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab, 改変 cry3Aa2, pat, mEPSPS, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Ittis) (Bt11 × MIR604 × GA21, OECD UI: SYN-BT011-1 × SYN-IR604-5 × MON-00021-9)【シンジエンタジャハン株式会社】			○	○	○	2008年8月18日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	42	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(cry1A.105, 改変cry2Ab2, 改変cp4 epsps, 改変cry3Bb1, Zea mays subsp. mays (L.)Iltis)(MON89034 × MON88017, OECD UI: MON-89034-3 × MON-88017-3)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2008年10月14日	○	○
	43	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(cry1A.105, 改変cry2Ab2, 改変cp4 epsps, Zea mays subsp. mays (L.)Iltis)(MON89034 × NK603, OECD UI: MON-89034-3 × MON-00603-6)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2008年10月14日	○	○
	44	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(cry1A.105, 改変cry2Ab2, cry1F, pat, 改変cp4 epsps, 改変cry3Bb1, cry34Ab1, cry35Ab1, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis)(MON89034 × B.t. Cry1F maize line 1507 × MON88017 × B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7, OECD UI: MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-88017-3 × DAS-59122-7)(MON89034, B.t. Cry1F maize line 1507, MON88017及びB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社、バイエルクロップサイエンス株式会社】)		○	○	○		2009年7月30日	○	○
	45	アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ(改変aad-1, Zea mays subsp. mays (L.)Iltis)(DAS40278, OECD UI: DAS-40278-9)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2009年7月30日 (使用期間: 2009.7.30~ 2011.3.31)	-	-
	46	アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ(改変aad-1, Zea mays subsp. mays (L.)Iltis)(DAS40474, OECD UI: DAS-40474-7)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2009年7月30日 (使用期間: 2009.7.30~ 2011.3.31)	-	-
	47	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ(改変cp4 epsps, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis)(NK603 × T25, OECD UI: MON-00603-6 × ACS-ZM003-2)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2010年1月25日	○	○
	48	乾燥耐性トウモロコシ(改変cspB, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis)(MON87460, OECD UI: MON-87460-4)【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2010年6月11日 (使用期間: 2010.6.11~ 2012.1.31)	-	-
	49	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変vip3A, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis)(MIR162, OECD UI: SYN-IR162-4)【シンジエンタージャパン株式会社】		○	○	○		2010年6月11日	○	○
	50	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(ecry3.1Ab, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis)(Event 5307, OECD UI: SYN-05307-1)【シンジエンタージャパン株式会社】	○					2010年6月11日 (使用期間: 2010.6.11~ 2012.3.31)	-	-
	51	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変cry1Ab, 改変vip3A, pat, mEPSPS, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis)(Bt11 × MIR162 × GA21, OECD UI: SYN-BT011-1 × SYN-IR162-4 × MON-00021-9)(Bt11, MIR162及びGA21それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(【シンジエンタージャパン株式会社】)		○	○	○		2010年6月11日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	52	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (Bt11 × MIR162 × MIR604 × GA21, OECD UI: SYN-BT011-1 × SYN-IR162-4 × SYN-IR604-5 × MON-00021-9) (Bt11, MIR162, MIR604及びGA21それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【シジエンタジャパン株式会社】		○	○	○		2010年6月11日	○	○
	53	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(MON87427, OECD UI: MON-87427-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2010年6月11日 (使用期間: 2010.6.11~ 2013.1.31)	—	—
	54	耐熱性 α -アミラーゼ産生トウモロコシ(改変 <i>amy797E</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(3272, OECD UI: SYN-E3272-5)【シジエンタジャパン株式会社】		○	○	○		2010年7月16日	○	○
	55	耐熱性 α -アミラーゼ産生並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>amy797E</i> , 改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (3272 × Bt11 × MIR604 × GA21, OECD UI: SYN-E3272-5 × SYN-BT011-1 × SYN-IR604-5 × MON-00021-9) (3272, Bt11, MIR604及びGA21それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【シジエンタジャパン株式会社】		○	○	○		2010年7月16日	○	○
	56	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(MON89034 × B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507 × NK603, OECD UI: MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-00603-6) (MON89034, B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【タウ・アグロサイエンス日本株式会社、バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2010年7月16日	○	○
	57	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(Bt11 × MIR162 × B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507 × GA21, OECD UI: SYN-BT011-1 × SYN-IR162-4 × DAS-01507-1 × MON-00021-9)(Bt11, MIR162, B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507及びGA21それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【シジエンタジャパン株式会社】		○	○	○		2011年4月13日	○	○
58	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry1Ab</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (1507 × MON810 × NK603, OECD UI: DAS-01507-1 × MON-00810-6 × MON-00603-6) (B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507, MON810及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○		2011年4月13日	○	○	

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	59	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry1Ab</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (1507×59122×MON810×NK603, OECD UI: DAS-01507-1×DAS-59122-7×MON-00810-6×MON-00603-6)(<i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507, <i>B.t.</i> <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7, MON810及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)			○	○	○	2011年4月13日	○	○
	60	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(Bt11× <i>B.t.</i> <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7×MIR604× <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507×GA21, OECD UI: SYN-BT011-1×DAS-59122-7×SYN-IR604-5×DAS-01507-1×MON-00021-9)(Bt11, <i>B.t.</i> <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7, MIR604, <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507及びGA21それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(シエンタジャパン株式会社)			○	○	○	2011年8月8日	○	○
	61	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(4114, OECD UI: DP-004114-3)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)	○					2011年9月2日 (使用期間: 2011.9.2~ 2014.3.31)	—	—
	62	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(32316, OECD UI: DP-032316-8)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)	○					2011年9月2日 (使用期間: 2011.9.2~ 2014.3.31)	—	—
	63	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(40416, OECD UI: DP-040416-8)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)	○					2011年9月2日 (使用期間: 2011.9.2~ 2014.3.31)	—	—
	64	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(43A47, OECD UI: DP-043A47-3)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)	○					2011年9月2日 (使用期間: 2011.9.2~ 2014.3.31)	—	—
	65	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(1507×MIR604×NK603, OECD UI: DAS01507-1×SYN-IR604-5×MON-00603-6)(<i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507, MIR604及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)			○	○	○	2011年11月29日	○	○
66	乾燥耐性トウモロコシ(改変 <i>cspB</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MON87460, OECD UI: MON-87460-4)(ハイレックロップサイエンス株式会社)			○	○	○	2012年2月7日	○	○	

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	67	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (1507 × 59122 × MON810 × NK603 × MIR604, OECD UI: DAS-01507-1 × DAS-59122-7 × MON-00810-6 × MON-00603-6 × SYN-IR604-5) (<i>B.t. Cry1F</i> maize line 1507, <i>B.t. Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7, MON810, NK603及びMIR604それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)		○	○	○		2012年5月29日	○	○
	68	乾燥耐性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cspB</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(MON87460 × NK603, OECD UI: MON-87460-4 × MON-00603-6)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2012年9月4日	○	○
	69	乾燥耐性、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cspB</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MON87460 × MON89034 × MON88017, OECD UI: MON-87460-4 × MON-89034-3 × MON-88017-3)(MON87460, MON89034及びMON88017それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(ハイエルクロップサイエンス株式会社)		○	○	○		2012年9月4日	○	○
	70	乾燥耐性、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cspB</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(MON87460 × MON89034 × NK603, OECD UI: MON-87460-4 × MON-89034-3 × MON-00603-6)(MON87460, MON89034及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(ハイエルクロップサイエンス株式会社)		○	○	○		2012年9月4日	○	○
	71	アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ(改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(DAS40278, OECD UI: DAS-40278-9)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】		○	○	○		2012年12月5日	○	○
	72	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MON89034 × <i>B.t. Cry1F</i> maize line 1507 × NK603 × DAS40278, OECD UI: MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-00603-6 × DAS-40278-9) (MON89034, <i>B.t. Cry1F</i> maize line 1507, NK603及びDAS40278それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(ダウ・アグロサイエンス日本株式会社)		○	○	○		2013年3月27日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	73	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (MON89034 × <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507 × MON88017 × <i>B.t.</i> <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7 × DAS40278, OECD UI: MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-88017-3 × DAS-59122-7 × DAS-40278-9)(MON89034, <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507, MON88017, <i>B.t.</i> <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7及びDAS40278それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(ダウ・アグロサイエンス日本株式会社)			○	○	○	2013年3月27日	○	○
	74	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>vip3A</i> , <i>cry2A.127</i> , <i>cry1A.88</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (186165, OECD UI:DP-186165-2)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2013年3月27日 (使用期間: 2013.3.27~ 2016.3.31)	—	—
	75	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>vip3A</i> , <i>cry2A.127</i> , <i>cry1A.88</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (186169, OECD UI:DP-186169-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2013年3月27日 (使用期間: 2013.3.27~ 2016.3.31)	—	—
	76	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>vip3A</i> , <i>cry2A.127</i> , <i>cry1A.88</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (187156, OECD UI:DP-187156-3)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2013年3月27日 (使用期間: 2013.3.27~ 2016.3.31)	—	—
	77	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(1507 × MON810 × MIR162 × NK603, OECD UI: DAS-01507-1 × MON-00810-6 × SYN-IR162-4 × MON-00603-6)(<i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507, MON810, MIR162及びNK603 それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)			○	○	○	2013年4月24日	○	○
	78	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(NK603 × DAS40278, OECD UI:MON-00603-6 × DAS-40278-9)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○	○	2013年4月24日	○	○
	79	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(MON87427, OECD UI:MON-87427-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○	○	2013年5月23日	○	○
	80	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(<i>ecry3.1Ab</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis) (Event 5307, OECD UI:SYN-05307-1)【シンジエンタジャパン株式会社】			○	○	○	2013年5月23日	○	○
	81	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>epsps</i> <i>grg23ace5</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itlis)(Event VCO-01981-5, OECD UI:VCO-01981-5)【ジエネクティヴ・ジャパン株式会社】	○					2013年8月2日 (使用期間: 2013.8.2~ 2016.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	82	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , <i>ecry3.1Ab</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(Bt11 × MIR604 × <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507 × Event 5307 × GA21, OECD UI:SYN-BT011-1 × SYN-IR604-5 × DAS-01507-1 × SYN-05307-1 × MON-00021-9)(Bt11, MIR604, <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507, Event 5307及びGA21それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【シンジェンタジャパン株式会社】		○	○	○		2013年8月2日	○	○
	83	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , <i>ecry3.1Ab</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(Bt11 × MIR162 × MIR604 × <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507 × Event 5307 × GA21, OECD UI:SYN-BT011-1 × SYN-IR162-4 × SYN-IR604-5 × DAS-01507-1 × SYN-05307-1 × MON-00021-9)(Bt11, MIR162, MIR604, <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507, Event 5307及びGA21それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【シンジェンタジャパン株式会社】		○	○	○		2013年8月2日	○	○
	84	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(MON87427 × MON89034 × NK603, OECD UI:MON-87427-7 × MON-89034-3 × MON-00603-6)(MON87427, MON89034及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2013年9月19日	○	○
	85	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(MON87427 × MON89034 × MON88017, OECD UI:MON-87427-7 × MON-89034-3 × MON-88017-3)(MON87427, MON89034及びMON88017それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2013年9月19日	○	○
	86	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(MON87427 × MON89034 × <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507 × MON88017 × <i>B.t.</i> <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7, OECD UI:MON-87427-7 × MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-88017-3 × DAS-59122-7)(MON87427, MON89034, <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507, MON88017及び <i>B.t.</i> <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2013年9月19日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	87	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(1507×MON810×MIR604×NK603, OECD UI:DAS-01507-1×MON-00810-6×SYN-IR604-5×MON-00603-6)(<i>B.t. Cry1F</i> maize line 1507, MON810, MIR604及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)		○	○	○		2013年12月26日	○	○
	88	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(DvSnf7, 改変 <i>cry3Bb1</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(MON87411, OECD UI: MON-87411-9)(ハイエルクroppサイエンス株式会社)	○					2014/4/30 (使用期間: 2014.4.30~ 2018.5.31)	—	—
	89	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(Bt11×MIR162, OECD UI:SYN-BT011-1×SYN-IR162-4)(シンジエンタジャパン株式会社)		○	○	○		2014年4月30日	○	○
	90	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>cry2A.127</i> , <i>cry1A.88</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(33121, OECD UI: DP-033121-3)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)	○					2014年5月29日 (使用期間: 2014.5.29~ 2017.3.31)	—	—
	91	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(1507×MON810×MIR162, OECD UI:DAS-01507-1×MON-00810-6×SYN-IR162-4)(<i>B.t. Cry1F</i> maize line 1507, MON810及びMIR162それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)		○	○	○		2014年8月7日	○	○
	92	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(4114, OECD UI:DP-004114-3)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)		○	○	○		2015年2月19日	○	○
	93	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1F</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>pat</i> , <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(4114×MON810×MIR604×NK603, OECD UI: DP-004114-3×MON-00810-6×SYN-IR604-5×MON-00603-6)(4114, MON810, MIR604及びNK603それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該トウモロコシから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)(デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社)		○	○	○		2015年3月17日	○	○
	94	絹糸抽出期における高雌穂バイオマストウモロコシ(ATHB17, <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(MON87403, OECD UI: MON87403-1)(ハイエルクroppサイエンス株式会社)	○					2015年6月26日 (使用期間: 2015.6.26~ 2020.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	95	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変cp4 epsps, cry1A 105, 改変cry2Ab2, 改変vip3A, Zea mays subsp. mays (L.)Itis) (MON87427 × MON89034 × MIR162 × NK603, OECD UI: MON-87427-7 × MON-89034-3 × SYN-IR162-4 × MON-00603-6) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2016年1月26日	○	○
	96	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(cry1A.105, 改変cry2Ab2, 改変cry1F, 改変vip3A, pat, 改変cp4 epsps, 改変aad-1, Zea mays subsp. mays (L.) Itis) (MON89034 × B.t. Cry1F maize line 1507 × NK603 × MIR162 × DAS40278, OECD UI: MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-00603-6 × SYN-IR162-4 × DAS-40278-9) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【タウ・アグロサイエンス日本株式会社】		○	○	○		2016年3月31日	○	○
	97	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ(mEPSPS,pat,Zea mays subsp.mays (L.)Itis)(GA21 × T25.OECD UI:MON-00021-9 × ACS-ZM003-2) 【シンジエンタジャパン株式会社】		○	○	○		2016年6月20日	○	○
	98	耐熱性α-アミラーゼ産生並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変amy797E, 改変cry1Ab, 改変cry3Aa2, 改変cry1F, ecry3.1Ab, pat, mEPSPS, Zea mays subsp. mays (L.) Itis) (3272 × Bt11 × MIR604 × B.t. Cry1F maize line 1507 × Event 5307 × GA21, OECD UI: SYN-E3272-5 × SYN-BT011-1 × SYN-IR604-5 × DAS-01507-1 × SYN-05307-1 × MON-00021-9) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【シンジエンタジャパン株式会社】		○	○	○		2016年6月20日	○	○
	99	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(DvSnf7, 改変cry3Bb1, 改変cp4 epsps, Zea mays subsp. mays (L.) Itis)(MON87411, OECD UI: MON-87411-9) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2016年8月26日	○	○
	100	耐熱性α-アミラーゼ産生並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(改変amy797E, 改変cry1Ab, cry34Ab1, cry35Ab1, 改変cry3Aa2, 改変cry1F, pat, mEPSPS, Zea mays subsp. mays (L.) Itis) (3272 × Bt11 × B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 × MIR604 × B.t. Cry1F maize line 1507 × GA21, OECD UI: SYN-E3272-5 × SYN-BT011-1 × DAS-59122-7 × SYN-IR604-5 × DAS-01507-1 × MON-00021-9) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【シンジエンタジャパン株式会社】		○	○	○		2017年1月23日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	101	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>ecry3.1Ab</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>) (Bt11 × MIR162 × MIR604 × MON89034 × Event5307 × GA21, OECD UI: SYN-BT011-1 × SYN-IR162-4 × SYN-IR604-5 × MON-89034-3 × SYN-05307-1 × MON-00021-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【シンジエンタージャパン株式会社】			○	○	○	2017年1月23日	○	○
	102	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>DvSnf7</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>) (MON87427 × MON89034 × B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507 × MON87411 × B.t. <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7, OECD UI: MON-87427-7 × MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-87411-9 × DAS-59122-7)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○	○	2017年5月18日	○	○
	103	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>DvSnf7</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>) (MON87427 × MON89034 × B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507 × MON87411 × B.t. <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7 × DAS40278, OECD UI: MON-87427-7 × MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-87411-9 × DAS-59122-7 × DAS-40278-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○	○	2017年7月28日	○	○
	104	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>DvSnf7</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>) (MON87427 × MON89034 × MIR162 × MON87411, OECD UI: MON-87427-7 × MON-89034-3 × SYN-IR162-4 × MON-87411-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○	○	2017年7月28日	○	○
	105	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性、乾燥耐性並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>cspB</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>DvSnf7</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>cry34Ab1</i> , <i>cry35Ab1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Iltis</i>) (MON87427 × MON87460 × MON89034 × B.t. <i>Cry1F</i> maize line 1507 × MON87411 × B.t. <i>Cry34/35Ab1</i> Event DAS-59122-7, OECD UI: MON-87427-7 × MON-87460-4 × MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-87411-9 × DAS-59122-7)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○	○	2017年7月28日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	106	除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性トウモロコシ(改変dmo, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (MON87419, OECD UI: MON-87419-8)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2017年7月28日	○	○
	107	絹糸抽出期における高雌穂バイオマストウモロコシ (ATHB17, Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (MON87403, OECD UI: MON-87403-1)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2017年12月19日	○	○
	108	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ (mepsps, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (MZHGOJG, OECD UI: SYN-000JG-2)【シンジエンタージャパン株式会社】		○	○	○		2018年6月8日	○	○
	109	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変cp4 epsps,cry1A.105, 改変cry2Ab2,cry1Ab, 改変vip3A,DvSnf7,改変cry3Bb1,改変dmo,pat, Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (MON87427 × MON89034 × MON810 × MIR162 × MON87411 × MON87419,OECD UI: MON-87427-7 × MON-89034-3 × MON-00810-6 × SYN-IR162-4 × MON-87411-9 × MON-87419-8)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)(【ハイエルクロップサイエンス株式会社】)		○	○	○		2018年10月2日	○	○
	110	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変cp4epsps,cry1A.105,改変cry2Ab2,cry1F,pat,DvSnf7,改変cry3Bb1,cry34Ab1,cry35Ab1,改変dmo,Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (MON87427 × MON89034 × B.t. Cry1F maize line 1507 × MON87411 × B.t.Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 × MON87419,OECD UI:MON-87427-7 × MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-87411-9 × DAS-59122-7 × MON-87419-8)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)(【ハイエルクロップサイエンス株式会社】)		○	○	○		2018年10月2日	○	○
	111	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性並びにチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変cp4epsps,cry1A.105,改変cry2Ab2,改変vip3A,改変dmo,pat,Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (MON87427 × MON89034 × MIR162 × MON87419 × NK603,OECD UI: MON-87427-7 × MON-89034-3 × SYN-IR162-4 × MON-87419-8 × MON-00603-6)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)(【ハイエルクロップサイエンス株式会社】)		○	○	○		2018年10月2日	○	○
	112	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(ecry3.1Ab, mcry3A, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Ittis)(MZIR098, OECD UI: SYN-00098-3)【シンジエンタージャパン株式会社】		○	○	○		2019年2月20日	○	○
	113	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変dmo, pat, ft.t, 改変cp4 epsps, Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (MON87429, OECD UI: MON-87429-9)【ハイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2019年5月30日 (使用期間: 2019.5.30~ 2024.5.31)	—	—
	114	収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (zmm28, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Ittis) (DP202216, OECD UI: DP-202216-6)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2019年5月30日 (使用期間: 2019.5.30~ 2022.3.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
トウモロコシ (続き)	115	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>DvSSJ1, ipd072Aa, pat, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Itis) (DP23211, OECD UI: DP-023211-2)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2019年5月30日 (使用期間: 2019.5.30~ 2022.3.31)	—	—
	116	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>DvSSJ1, ipd072Aa, pat, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Itis) (DP62151, OECD UI: DP-062151-8)【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	○					2019年5月30日 (使用期間: 2019.5.30~ 2022.3.31)	—	—
	117	除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps, pat, 改変aad-1, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Itis) (NK603×T25×DAS40278, OECD UI: MON-00603-6×ACS-ZM003-2×DAS-40278-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】			○	○	○	2020年6月17日	○	○
トマト	1	ミラクリン産生トマト(<i>MIR, Solanum lycopersicum</i> L.) (5B)【国立大学法人筑波大学、株式会社インプラントイノベーションズ】	○					2018年6月8日 (使用期間: 2018.6.8~ 2020.3.31)	—	—
パパイヤ	1	パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ(改変 <i>PRSV CP, uidA, npt II, Carica papaya</i> L.) (55-1, OECD UI: CUH-CP551-8)【ハワイパパイヤ産業協会】			○	○		2011年12月1日	○	—
バラ	1	フラボノイド生合成経路を改変したバラWKS82/130-4-1 (<i>F3'5'H, 5AT, Rosa hybrida</i>) (OECD UI: IFD-52401-4)【サントリーホールディングス株式会社】	○					2006年5月2日 (使用期間: 2006.5.2~ 2010.12.31)	—	—
	2	フラボノイド生合成経路を改変したバラWKS82/130-9-1 (<i>F3'5'H, 5AT, Rosa hybrida</i>) (OECD UI: IFD-52901-9)【サントリーホールディングス株式会社】	○					2006年5月2日 (使用期間: 2006.5.2~ 2010.12.31)	—	—
	3	フラボノイド生合成経路を改変したバラ(<i>F3'5'H, 5AT, Rosa hybrida</i>) (WKS82/130-4-1, OECD UI: IFD-52401-4)【サントリーホールディングス株式会社】			○		○	2008年1月31日	—	—
	4	フラボノイド生合成経路を改変したバラ(<i>F3'5'H, 5AT, Rosa hybrida</i>) (WKS82/130-9-1, OECD UI: IFD-52901-9)【サントリーホールディングス株式会社】			○		○	2008年1月31日	—	—
ファレノプシス	1	青紫色ファレノプシス(<i>CcF3'5'H, Phalaenopsis Wedding Promenade</i>) (311)【国立大学法人筑波大学、株式会社インプラントイノベーションズ、石原産業株式会社】	○					2018年6月8日 (使用期間: 2018.6.8~ 2023.3.31)	—	—
ワタ	1	除草剤グリホサート耐性ワタ(<i>cp4 epsps, Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913)【ハイレックロップサイエンス株式会社】	○					2004年6月11日 (使用期間: 2004.6.11~ 2004.12.31)	—	—
	2	除草剤グリホサート耐性ワタ(<i>cp4 epsps, Gossypium hirsutum</i> L.) (1445, OECD UI: MON-01445-2)【ハイレックロップサイエンス株式会社】			○	○		2004年11月22日	○	○
	3	チョウ目害虫抵抗性ワタ(<i>cry1Ac, Gossypium hirsutum</i> L.) (531, OECD UI: MON-00531-6)【ハイレックロップサイエンス株式会社】			○	○		2004年11月22日	○	○
	4	チョウ目害虫抵抗性ワタ(<i>cry1Ac, cry2Ab, Gossypium hirsutum</i> L.) (15985, OECD UI: MON-15985-7)【ハイレックロップサイエンス株式会社】			○	○		2004年12月10日	○	○
	5	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ(<i>cp4 epsps, cry1Ac, Gossypium hirsutum</i> L.) (1445×531, OECD UI: MON-01445-2×MON-00531-6)【ハイレックロップサイエンス株式会社】			○	○		2004年12月10日	○	○

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ワタ (続き)	6	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性ワタ(cry1AC, cry2Ab, cp4 epsps, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (15985 × 1445, OECD UI: MON-15985-7 × MON-01445-2)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2005年3月2日	○	○
	7	チョウ目害虫抵抗性ワタ(cry1Ac, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (757, OECD UI: MON-00757-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2005年3月25日	○	○
	8	除草剤グルホシネート耐性ワタ(<i>bar</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (LLCotton25, OECD UI: ACS-GH001-3)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2006年2月10日	○	○
	9	除草剤グリホサート耐性ワタ(cp4 epsps, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913, OECD UI: MON-88913-8)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2006年2月10日	○	○
	10	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ(cp4 epsps, cry1Ac, cry2Ab, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913 × 15985, OECD UI: MON-88913-8 × MON-15985-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2006年2月10日	○	○
	11	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ワタ(cry1F, cry1Ac, pat, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (281 × 3006, OECD UI: DAS-24236-5 × DAS-21023-5)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2006年4月10日	○	○
	12	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(cry1F, cry1Ac, pat, cp4 epsps, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (281 × 3006 × 1445, OECD UI: DAS-24236-5 × DAS-21023-5 × MON-01445-2)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2006年6月12日	○	○
	13	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(cry1F, cry1Ac, pat, cp4 epsps, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (281 × 3006 × MON88913, OECD UI: DAS-24236-5 × DAS-21023-5 × MON-88913-8)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2006年6月12日	○	○
	14	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ(改変 <i>bar</i> , 改変cry1AC, cry2Ab, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (LLCotton25 × 15985, OECD UI: ACS-GH001-3 × MON-15985-7)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2007年1月29日	○	○
	15	チョウ目害虫抵抗性ワタ(改変cry1Ab, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT67B, OECD UI: SYN-IR67B-1)【シジエンジャパン株式会社】	○					2007年5月30日 (使用期間: 2007.5.30~ 2009.3.31)	—	—
	16	チョウ目害虫抵抗性ワタ(改変vip3A, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT102, OECD UI: SYN-IR102-7)【シジエンジャパン株式会社】	○					2007年5月30日 (使用期間: 2007.5.30~ 2009.3.31)	—	—
	17	除草剤グリホサート耐性ワタ(2mepsps, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (GHB614, OECD UI: BCS-GH002-5)【BASFジャパン株式会社】	○					2008年5月30日 (使用期間: 2008.5.30~ 2010.5.31)	—	—
	18	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ(改変 <i>bar</i> , 改変cry1Ab, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (T304-40, OECD UI: BCS-GH004-7)【BASFジャパン株式会社】	○					2010年1月25日 (使用期間: 2010.1.25~ 2012.5.31)	—	—
	19	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ(改変 <i>bar</i> , cry2Ae, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (GHB119, OECD UI: BCS-GH005-8)【BASFジャパン株式会社】	○					2010年1月25日 (使用期間: 2010.1.25~ 2012.5.31)	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ワタ (続き)	20	除草剤グリホサート耐性ワタ(<i>2mepsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(GHB614, OECD UI: BCS-GH002-5)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2010年6月11日	○	○
	21	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ワタ(<i>2mepsps</i> , 改変 <i>bar</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(GHB614 × LLCotton25, OECD UI: BCS-GH002-5 × ACS-GH001-3)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2010年6月11日	○	○
	22	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性並びにチョウ目害虫抵抗性ワタ(<i>2mepsps</i> , 改変 <i>bar</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>cry2Ab</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(GHB614 × LLCotton25 × 15985, OECD UI: BCS-GH002-5 × ACS-GH001-3 × MON-15985-7)(GHB614, LLCotton25及び15985それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該ワタから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2011年4月13日	○	○
	23	除草剤グリホサート耐性ピマワタ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium barbadense</i> L.)(MON88913, OECD UI: MON-88913-8)【ハイエルクroppサイエンス株式会社】			○	○		2011年8月8日	○	○
	24	除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性ワタ(改変 <i>dmo</i> , <i>bar</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(MON88701, OECD UI: MON-88701-3)【ハイエルクroppサイエンス株式会社】	○					2012年3月26日 (使用期間: 2012.3.26~ 2016.5.31)	—	—
	25	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ワタ(改変 <i>aad-12</i> , <i>pat</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(DAS1910, OECD UI: DAS-81910-7)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	○					2012年5月29日 (使用期間: 2012.5.29~ 2014.3.31)	—	—
	26	チョウ目害虫抵抗性ワタ(改変 <i>cry1Ab</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(COT67B, OECD UI: SYN-IR67B-1)【シンジエンタジャパン株式会社】			○	○		2012年9月4日	○	○
	27	チョウ目害虫抵抗性ワタ(改変 <i>vip3A</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(COT102, OECD UI: SYN-IR102-7)【シンジエンタジャパン株式会社】			○	○		2012年9月4日	○	○
	28	除草剤グルホシネート及びチョウ目害虫抵抗性ワタ(改変 <i>bar</i> , <i>cry2Ae</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(GHB119, OECD UI: BCS-GH005-8)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2013年2月25日	○	○
	29	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ(改変 <i>bar</i> , 改変 <i>cry1Ab</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(T304-40, OECD UI: BCS-GH004-7)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2013年9月19日	○	○
	30	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(281 × 3006 × COT102 × MON88913, OECD UI: DAS-24236-5 × DAS-21023-5 × SYN-IR102-7 × MON-88913-8)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2013年9月19日	○	○
31	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性並びにチョウ目害虫抵抗性ワタ(<i>2mepsps</i> , 改変 <i>bar</i> , 改変 <i>cry1Ab</i> , <i>cry2Ae</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(GHB614 × T304-40 × GHB119, OECD UI: BCS-GH002-5 × BCS-GH004-7 × BCS-GH005-8)(GHB614, T304-40及びGHB119それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該ワタから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)を含む。)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2013年12月26日	○	○	

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ワタ (続き)	32	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性ワタ(改変vip3A, 改変cry1Ac, 改変cry2Ab2, 改変cp4 epsps, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT102 × 15985 × MON88913, OECD UI:SYN-IR102-7 × MON-15985-7 × MON-88913-8) (COT102, 15985及びMON88913それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該ワタから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。))を含む。【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2014年8月7日	○	○
	33	チョウ目害虫抵抗性ワタ(改変vip3A, 改変cry1Ac, 改変cry2Ab2, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT102 × 15985, OECD UI:SYN-IR102-7 × MON-15985-7)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2014年8月7日	○	○
	34	除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性ワタ(改変dmo, bar, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88701, OECD UI:MON-88701-3)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2015年1月30日	○	○
	35	除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性並びにチョウ目害虫抵抗性ワタ(改変dmo, bar, 改変cp4 epsps, 改変cry1Ac, 改変cry2Ab2, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88701 × 15985 × MON88913, OECD UI:MON-88701-3 × MON-15985-7 × MON-88913-8) (MON88701, 15985及びMON88913それぞれへの導入遺伝子の組合せを有するものであって当該ワタから分離した後代系統のもの(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。))を含む。【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2015年1月30日	○	○
	36	除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(改変dmo, bar, 改変cp4 epsps, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88701 × MON88913, OECD UI:MON-88701-3 × MON-88913-8)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2015年1月30日	○	○
	37	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ワタ(2mepsps, 改変bar, 改変cry1Ab, cry2Ae, 改変vip3A, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (GHB614 × T304-40 × GHB119 × COT102, OECD UI:BCS-GH002-5 × BCS-GH004-7 × BCS-GH005-8 × SYN-IR102-7)並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。))【BASFジャパン株式会社】			○	○		2015年6月26日	○	○
	38	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ワタ(改変aad-12, pat, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (DAS1910, OECD UI:DAS-81910-7)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2015年12月1日	○	○
	39	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(改変cry1F, 改変cry1Ac, 改変vip3A, pat, 改変cp4 epsps, 改変aad-12, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (281 × 3006 × COT102 × MON88913 × DAS1910, OECD UI:DAS-24236-5 × DAS-21023-5 × SYN-IR102-7 × MON-88913-8 × DAS-81910-7)【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2015年12月1日	○	○
40	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ワタ(改変cry1F, 改変cry1Ac, 改変vip3A, pat, 改変aad-12, <i>Gossypium hirsutum</i> L.) ((281 × 3006) × COT102 × DAS1910, OECD UI:(DAS-24236-5 × DAS-21023-5) × SYN-IR102-7 × DAS-81910-7)並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○		2016年3月31日	○	○	

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性(食品衛生)	飼料安全性(飼料安全)
ワタ (続き)	41	チョウ目害虫抵抗性及びに除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(改変vip3A, 改変cry1Ac, 改変cry2Ab2, 改変dmo, bar, 改変cp4 epsps, Gossypium hirsutum L.)(COT102 × 15985 × MON88701 × MON88913, OECD UI: SYN-IR102-7 × MON-15985-7 × MON-88701-3 × MON-88913-8)並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)(「バイエルクロップサイエンス株式会社」)			○	○		2016年3月31日	○	○
	42	除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ワタ(2mepsps, hppdPAW336-1Pa, Gossypium hirsutum L.)(GHB811, OECD UI:BCS-GH811-4)【BASFジャパン株式会社】	○					2017年5月18日 (使用期間: 2017.5.18~ 2020.3.31)	—	—
	43	除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ワタ(2mepsps, hppdPAW336-1Pa, Gossypium hirsutum L.)(GHB814, OECD UI:BCS-GH814-7)【BASFジャパン株式会社】	○					2017年5月18日 (使用期間: 2017.5.18~ 2020.3.31)	—	—
	44	カメムシ目、アザミウマ目及びコウチュウ目害虫抵抗性ワタ(改変cry51Aa2, Gossypium hirsutum L.)(MON88702, OECD UI: MON-88702-4)【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○					2017年5月18日 (使用期間: 2017.5.18~ 2021.5.31)	—	—
	45	カメムシ目、アザミウマ目及びコウチュウ目害虫抵抗性ワタ(改変cry51Aa2, Gossypium hirsutum L.)(MON88702, OECD UI: MON-88702-4)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2019年2月20日	○	○
	46	カメムシ目、アザミウマ目、コウチュウ目及びチョウ目害虫抵抗性及びに除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(改変cry51Aa2, 改変cry1Ac, 改変cry2Ab2, 改変vip3A, 改変dmo, bar, 改変cp4 epsps, Gossypium hirsutum L.)(MON88702 × 15985 × COT102 × MON88701 × MON88913, OECD UI: MON-88702-4 × MON-15985-7 × SYN-IR102-7 × MON-88701-3 × MON-88913-8)並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)(「バイエルクロップサイエンス株式会社」)			○	○		2019年11月8日	○	○
	47	除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ/ピマワタ(改変 dmo, bar, 改変 cp4 epsps, Gossypium hirsutum L./Gossypium barbadense L.)(MON88701 × MON88913, OECD UI: MON-88701-3 × MON-88913-8)【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2020年6月17日	○	○
	48	除草剤グリホサート及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ワタ(2mepsps, hppdPAW336-1Pa, Gossypium hirsutum L.)(GHB811, OECD UI:BCS-GH811-4)【BASFジャパン株式会社】			○	○		2020年10月9日	○	○
14	300		103	142	186	185	11			

※「日本モンサント株式会社」は2020年1月1日付けで「バイエルクロップサイエンス株式会社」に変更

注1: 名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2: 名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3: 第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4: 「(参考)他の安全性確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「—」は未確認を示すものです。ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。なお、スタック系統の場合親系統で安全性の確認がされているものと見なします。

注5: 最下欄は、各項目の合計件数を示すものです。

参考: 承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(http://www.bch.biodic.go.jp/bch_3.html)から検索できます。